## 貧酸素水塊速報 (2021年)

【発行】〇 千葉県水産総合研究センター 神奈川県水産技術センター 千葉県農林水産技術会議 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター 第三管区海上保安本部 東京都環境局 (国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局) (今回の速報は"○"の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和3年6月7日観測結果

貧酸素水塊は羽田沖から市原沖にかけて内湾北部に広く分布しており、羽田沖から内湾北部中央にかけてDOが0.5 ml/Lを下回る海域がみられました(図1)。 縦断ラインの鉛直分布をみると、貧酸素水塊の厚みは薄く、小規模でしたが(図2,3)、千葉沖〜盤洲沖にかけて赤潮が発生しており、今後急速に貧酸素水塊が拡大する可能性があります。

水温は表層20~22℃, 底層17~21℃でした。

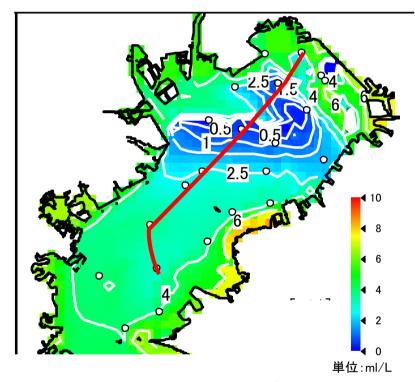


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

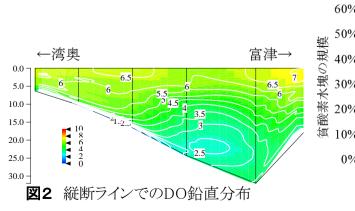




図3 貧酸素水塊の規模 (左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)